

# 普通科通信 1号 (学力向上フロンティア校)

~ One for All, All for One! ~

福知山高校 企画広報部



平成21年4月30日(木)

4月当初に文書にて御案内させていただきましたとおり、本校では本年度、新たに創設されました企画広報部を中心に広報活動の強化を図るとともに、普通科に対して従来以上に系統的、組織的な指導を展開し、「みらいプロジェクト」により、各種講演会を始め様々なバックアップ体制を強化します。

1年生に対して入学直後に実施しました「みらいウィーク」の取組を始め、各学年ごとに次のとおり充実したプログラムを準備し、目標とする進路の実現に向けて支援を行います。

## 「みらいプロジェクト」における普通科に対する様々なサポート体制

|     |  |
|-----|--|
| 1年生 | 「みらいウィーク」の取組(「夢」に関する講演会・着こなし講座・中学校の振り返り・英数国オリエンテーション) 職業適性検査 宿泊研修(大学見学等) インターンシップ(企業研修等) 「みらいプロジェクト」講演会 小論文添削 日々の演習の取組 その他各種進路指導部と連携した取組 |
| 2年生 | 職業適性検査 小論文添削 小論文講演会 土曜セミナー講演会 日々の演習の取組 その他各種進路指導部と連携した取組   |
| 3年生 | 小論文添削 小論文講演会 日々の演習の取組 土曜セミナー講演会 その他各種進路指導部と連携した取組  |

### ~ これまでに実施した取組の概略 ~

#### 1年生

##### ・「みらいプロジェクト」講演会

佛教大学教育学部の原清治教授に「夢を持って生きることの意義」というテーマで御講演いただきました。

##### ・中学校の振り返り

アンケートに答える形式で中学校生活を振り返り、今春卒業した先輩の合格体験記を読んで高校への決意を文章にしたためました。

##### ・着こなし講座

丹栄商事の伴中隆司様より「制服を着ている時間は短い」というテーマでお話いただき、制服を正しく着こなすことの大切さについて学びました。

##### ・英数国オリエンテーション

最初の2時間連続の授業の中で具体的な予習方法や復習について学び、授業の大切さを知りました。

#### 2年生

##### ・職業適性検査

リクルート社によるR-Cap職業適性検査を受検し、合計295問の質問に答えることで自らの適性について知る機会を得ました。

##### ・高校1年生の振り返り

アンケートに答える形式で高校1年生を振り返り、今春卒業した先輩の合格体験記を読んで高校生活2年目への決意を新たにしました。

#### 3年生

##### ・小論文模試

大学・短大/専門学校・公務員/一般企業コースに分かれてそれぞれのテーマを選び、800字(60分)の内容で小論文課題に取り組みました。

## 第1回「みらいプロジェクト」特別講演

4月11日(土)の土曜講座を利用して普通科1年生4クラスを対象に、第1回「みらいプロジェクト」特別講演が開催されました。本年度新規にスタートしたこの企画は普通科を対象に系統的・組織的にキャリア教育を実践し、高いモチベーションを維持しながら進路実現へと導くという趣旨の取組であります。

第1回講演会のテーマ設定は「夢を抱き、夢に向かって生きる」というもので、講師を務めていただいた佛教大学教育学部の原清治先生にはより具体的に「夢を持って生きることの意義」という演題で御講演いただきました。原先生は教育の関する書物を多数執筆しておられ、大学の教育学部で教鞭をとられる傍ら学力問題などにも幅広く取り組んでおられます。

今回の講演は2部構成で、第1部では原先生御自身に「夢」についてお話いただきました。先生のお話を聞かせていただく中で、高校生活をただ漫然と過ごすのではなく目標を持って1日1日を大切に生きる中から自ずとやりたいことが見えてくるということや、総合的な「人間力」を高めるためにはコミュニケーション能力が重要で、人の話をしっかり聞くこと・誰とでも付き合える人間としての幅・「社会の目」を意識しつつ生活することの重要性などを教えていただきました。先生の語り口はとてもテンポがよくかつエネルギーで、およそ30分の講演時間を忘れてしまうほどの有意義な機会となりました。

第2部は佛教大学教育学部4年生の温品文浩さんと武内琴野さんに御協力いただき原先生とのディスカッション形式で後半がスタートしました。お二人は現在共に教職を目指しておられることから、教師を志した動機やきっかけに始まり御自身の高校時代の悩みや葛藤またそれらを様々な工夫で乗り越えてこられた貴重な体験などについてお話をしていただきました。お二人と今回の講演を聞かせていただいた生徒たちの年齢が近いことから生徒たちも親近感を抱いた様子で、後半も終始和やかな雰囲気の中で時間が過ぎて行きました。

年度始めのお忙しい中、保護者の方にも12名参加していただき、夢を抱いて高校生活をスタートする普通科生徒の様子を応援していただきました。

## 生徒感想文



高校に進学するとき、私はそれが当たり前だと思っていた。義務教育ではないけれど、今の世の中高校進学は当然の選択だと。だから迷わず公立高校を希望した。

けれど、それはあまりにも安易な考えだった。私は後で思い知った。美容師になるため県外の専門学校に行く子、海外への就職を目指し、私立に進学する子。みんな私よりはるかにしっかりと将来を見据え、目標に向き努力していた。たどり着きたい場所を持ったとき、人はこんなにも生き生きとした顔になるのかとそのとき思った。

まだ私のたどり着きたい「場所」はあやふやだ。けれど時間は止まってはくれない。今できることは、様々なものに目を向け、自分の世界を広げることだと思う。そしてその先に私の「場所」が見えてくるよう、日々の努力を続けていきたい。

